

2018年度 第307回教育研究審議会議事要録

日時 2019年1月29日(火) 13:30～14:30
場所 北方キャンパス本館 E701会議室
出席者 松尾学長、柳井副学長、梶原副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、大平外国語学部長、朱経済学部長、田部井文学部長、小野法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、任マネジメント研究科長、今泉学生部長、田村教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、廣渡評価室副室長

配布資料

- 1-1 退職願(外国語学部)
- 2-1 特任教員の選考について(地域戦略研究所)
- 2-2 特任教員の選考について(国際教育交流センター)
- 2-3 特任教員の選考について(地域共生教育センター)
- 3 学部長等の選考について
- 4 2019年度教育研究審議会委員名簿
- 5 学科長等の選考について
- 6 組織人事委員会の審議結果
- 7 公立大学法人北九州市立大学におけるハラスメントの防止に関する規程及び北九州市立大学人権・ハラスメント問題協議会規程の一部改正について
- 8 内部質保証の推進について
- 9 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第1号 教員の人事について

* 資料1のとおり、外国語学部からの申請に基づき、ダニエル・ストラック教授の2019年3月31日付けでの退職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 特任教員の選考

* 資料2-1のとおり、地域戦略研究所の特任教員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料2-2のとおり、国際教育交流センターの特任教員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料2-3のとおり、地域共生教育センターの特任教員3名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 学部長等の選考について

* 資料3のとおり、学部長等の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 2019年度教育研究審議会の構成について

* 資料4のとおり、2019年度教育研究審議会の構成について提案。

- 来年度は内部質保証にかかる組織を構築することから、評価室については今年度で廃止する予定である。そのため、評価室長は教育研究審議会の委員から除いている。また、これまでと異なる点として法学研究科長を追加し、明記している。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 学科長等の推薦依頼について

* 資料5のとおり、学科長や研究科の専攻長等の推薦依頼について提案。

- 社会システム研究科の専攻長はこれまで関連学部の学部長が務めてきたが、今回の選考ではどのように取り扱うのか。
- 困難な事情がある場合はやむを得ないが、基本的にはこれまでどおり学部長にお願いしたい。
- 文化・言語専攻においては、これまで専攻長の下に3つの領域の責任者を置き、専攻長をサポートする体制をとっている。現代経済専攻と東アジア専攻においては、専攻長以外に運営委員1名を置く体制をとっている。学科長と専攻長推薦の報告締切が同日となっており、期限内で学科長を選考した後に専攻長を決めるのは難しい。本期限内に同時にということであれば、これまでどおり学部長に専攻長をお願いする対応となるため、ご理解いただきたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第6号 国際教育交流センターの改編について

* 資料6のとおり、第3期中期計画に掲げている海外での学習体験者1.5倍以上の達成、KGEPの推進、留学支援の体制を強化する等の理由により、国際教育交流センターにグローバル人材育成推進室の持つ機能を移管する改編について提案。

- 中期計画に掲げている海外での学習体験者はどのように定義されているのか。
- 国際教育交流センターで管轄している交換留学、派遣留学、語学研修のほか、海外体験プログラムなど、単位取得に伴うものが対象となる。海外インターンシップやゼミ等で引率するものは対象としていない。
- 近年、外国語学部では、ゼミの一環で学生を海外に引率するケースが増えてきている。それがゼミ単位の取得につながるような場合は、海外での学習体験者数としてカウントすることで目標達成の一助となるのではないか。
- 海外での学習体験者数の取扱いについては、当初から議論があった。教員が引率する場合、大学として危機管理の面から保険への加入などをお願いしているが、ゼミ以外で海外に行く場合やゼミであっても任意で参加する場合は単位を取得しないことも想定される。今後の検討事項としたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第7号 公立大学法人北九州市立大学におけるハラスメントの防止に関する規程及び北九州市立大学人権・ハラスメント問題協議会規程の一部改正について

* 資料7のとおり、公立大学法人北九州市立大学におけるハラスメントの防止に関する規程及び北九州市立大学人権・ハラスメント問題協議会規程の一部改正について提案。

- 北九州市立大学人権・ハラスメント問題協議会規程において、評価室長の記載があるが、評価室の廃止が決定した場合に再度規程の改正を行う必要がある。規程には学科長等の詳細なものではなく、公立大学法人北九州市立大学教育研究審議会規程の重要な組織の長といった形で指定することで規程改正を省くことができるのではないか。
- 他の規程から引用することは慣行上行っておらず、必要な場合は同規程の中で引用している。評価室が廃止となった場合、規程改正を行うことが望ましいが、当面残すことも考えられる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第8号 内部質保証の推進について

* 資料8のとおり、内部質保証の推進にかかる部局活動計画の追記事項の確認依頼や教育アセスメント検討部会の設置等について提案。

- 部局長の作業としては部局活動計画の評価の視点の部分を確認することでよいのか。
- 各部局から提出された部局活動計画に、認証評価における評価基準及び関連する参照データを評価の視点、エビデンスとして追記しているため、再度確認をお願いしたい。
- エビデンスとなるデータ集の提供はいつ頃になるのか。今回の確認の締切りまでにデータ集がこないということか。
- スケジュールについては現在検討中である。今回は評価の視点を中心に確認をお願いしたい。データ集の部分は参考のイメージであり、今後内容を精査する。
- 修正が必要となった場合、部局活動計画を修正するのか、それとも評価の視点を修正するのか。
- 評価の視点は認証評価の評価基準を基に設定しているため、評価の視点については基本的には記載のとおりとなる。評価の視点やエビデンスが追記されているため、その部分とそれをふまえた活動計画となっているかの確認をお願いしたい。
- エビデンスが提示された後に部局活動計画を修正する可能性もあるか。
- PDCAサイクルの中でチェックを行う際に確認をお願いする可能性はある。
- 修正が加えられている部分はとりまとめの経営企画課が行っているのか。それとも部局で行ったのか。
- 部局に確認をとり、経営企画課が修正を行った。
- 教育アセスメント検討委員会が学部学科別に設置されることとなっているが、いつ設置されるのか。他部局の教員が委員となる可能性もあるのか。
- 教育アセスメント検討部会において検討する。時期については3月までに結論を出すことになっているため、それ以降と考えられる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 教員の海外出張について
- ② 次回の審議会を2019年2月5日（火）に開催する予定の旨、連絡があった。